

おした

2014年(一社)津山青年会議所スローガン

夢は叶う共に歩もう

～揺さぶれ!つやま魂 懐かしい未来へ向かって～



■ 事業報告
■ 会員消息

■ 出向報告
■ スケジュール

事業報告



指導力入魂委員会 委員長 山本 竜 義

2月23日(日)雇用労働センター2階大ホールにてLOM新会員研修会を開催しました。新会員は1月20日から課題であるレポートに取り組み、過去の事業を調査し、先輩方の話を聴くことで熱い想いを感じ、歴史・伝統を学ぶことができました。2月23日の新会員研修会では定款規約の説明、「NEW JAYCEE新入会員開発マニュアル」を使った基本的な知識の説明、入魂テストで基礎知識を学んでもらい、JCケーススタディでは、指導力入魂委員会の実演で新会員としてのマナーや礼儀・礼節を伝えました。また佐野彰彦先輩に「JAYCEEとしての責任」という題目でご講演いただきました。佐野先輩の経験に基づく熱いご講演を聴いたことでJCに対する意識もさらに高まりました。3分間スピーチでは「今後のJC運動・活動に向けての抱負」という題目で新会員にスピーチをしてもらい、新会員全員から今後前向きに取り組んでいきたいという想いを聴くことができました。そのことで新会員がこの事業を通じて学んだことや感じたことを活かして活躍してくれると確信しました。最後になりますが、この事業に対し、多くの先輩方、メンバーの皆様にご協力をいただき本当にありがとうございました。



2020年の森活用推進プロジェクト キャプテン 山形 三 平

今年で2020年の森も37年目を迎え、先輩方の熱き想いや歴史を感じる中、4月5日土曜日に管理育成事業を行いました。当日は間伐材を利用して薪割体験をメンバーで行いました。薪割りをしたことがないメンバーが多く、ごこちないながらも上手に割ることが出来、貴重な体験ができたと思います。また、薪を管理小屋横に保管しました。今後、薪を利用した活用もしていただきたいと思います。作業では創立55周年記念広場から管理小屋へ続く道の拡幅作業において15m道を延長し、管理小屋前の橋の修復など、特別会員の先輩方と共にメンバー一丸となって取り組むことが出来ました。また2009年度キャプテンの日下真先輩にお越しいただき、当時の二酸化炭素吸収認定制度を受けられた経緯や想いなどを語っていただき、あらためて(一社)津山青年会議所の大切な財産だと気づかせていただきました。

事業後の懇親会では創立55周年記念広場でバーベキューを行いました。今回は薪を使って豚汁も作り、美味しく頂くことが出来ました。特別会員にもご参加いただき懇親を深め、楽しいひとときを過ごす事が出来ました。雨天の為、開催日が延期となった事業でしたが、当日は多くのメンバーに参加いただき、先輩方から受け継がれた森で時間を共有できることに格別の喜びを感じました。2020年まであと6年となりましたが、これからもこの森を継続し、活用していく事を期待したいと思います。



つやま活性化委員会 委員長 須江 庸 司

本年度、つやま活性化委員会では対外事業として「いいね!みんなのまち~活力ある20年後へ~」を開催しています。この事業は5月10日(土)~8月30日(土)の期間に津山圏域の学童保育所を訪問し、地域のたからの魅力をクイズ形式で紹介します。そして、児童に「自分のまちの好きなおとこ」を横野和紙に描いてもらいます。この「自分のまちの好きなおとこ」とは地域のたからのような大きなものだけではなく、普段何気なく接している地域の魅力の事で、その魅力を再認識してもらいます。これはソーシャルストックの掘り起しになり、我々青年会議所メンバーの気づきにもなります。

本事業を通じて、20年後の地域を担う子ども達が自分のまちの「いいね!」と想うところを見つけ、この気持ちを育み、広めていく事で、地域に愛着と誇りを持ち「活力ある「つやま」のあした」を創造していく事を目的として実施しています。

長丁場の事業となりますが、メンバーの皆様のお力添えが不可欠となりますので、よろしくお願いたします。



出向報告



全国城下町青年会議所連絡協議会 理事 菅田 拓平

大会テーマを「万里一空」、スローガンを「時代をこえ、人と夢をつなぐ城下町くもと～集まれ九州ど真ん中!!～」どれだけ離れていても同じ想いを持つ城下町の空は繋がっているとの考えのもと、第33回全国城下町シンポジウム（以下全城シン）熊本大会が、5月16日（金）～18日（日）の3日間開催されました。私たちの暮らす津山も城下町であり、この全城シンは多くの気づきと学びのある大会となりました。16日の役員会では第34回全城シン会津大会の次、第35回全城シンが彦根の地で開催されることが決定されました。17日は閉会式典から始まり、分科会に参加しました。参加した分科会は「蘇る熊本城完全復活」という名称で、VR（ヴァーチャルリアリティ）システムを使用し、江戸時代当時の熊本城を完全復元するという内容でした。これは一人1台のタブレットを持ち決められたポイントに行くと、現存されていない櫓や塀が3D映像でタブレットに映し出されるのです。これは熊本城にあるCG（コンピューターグラフィックス）を活用して作成されたものでした。津山においても津山城のCGが作成されていますので、同様のことができるかを研究していきます。そして、18日の閉会式典では美作国建国1300年記念事業「津山城天守復元～今こそ和っしよ津山城～」が優秀賞として褒賞されました。これからも津山城の復元整備、天守再建に向けて調査・研究及び事業の推進を行っていく必要があると思います。この出向することで得ることのできた人のつながり、情報、熊本における城下町としての取り組み、行政と市民との関わり等学ぶべき点が多くあり今後生かしていきます。そして、須江理事長をはじめ全日程参加して下さった3名の方、片道8時間半をかけて参加して下さったLOMの皆様、そして特別会員の皆様、遠く熊本の地までありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。



公益社団法人日本青年会議所 国家グループ 真の経済復興創造委員会 総括幹事 鈴木 大介

当委員会では、まず、6月4日から7日に山形で開催された ASPAC で中小企業庁、JETRO と協力し、「海外ビジネス進出支援のブース」を出展し、多くの皆様にご来場いただき海外ビジネス進出への意識を高めることができました。全国の JC メンバーが日本経済の現状と経済活動を加速させる具体的なアプローチを知ることで、自らが日本経済を力強く牽引していくという当事者意識を高め、経済復興に向けた行動を促進していくため、サマーコンファレンス2014にて山口正洋氏・藻谷浩介氏・渋澤健氏をお招きし「真の経済復興創造フォーラム～今こそ、経済復興への狼煙をあげろ!」を開催します。また、「真の経済復興へ向けた JC ビジネスネットワークの開発」として信頼を基盤とする JC メンバーの企業間がよりアクティブにコミュニケーションするシステム提供として「C ATAL」を立ち上げ、真の経済復興に向け経済活動の活性化を目指します。6月22日から24日にかけてロシアを訪問して行う、「日本・ロシア経済交流事業」など日本の経済の回復を中小零細企業が実感でき国と地域が同じ方向を向いて自らの力で自立していき、グローバル化する環境をさらなる経済成長の機会と取り入れ、上向いていく日本経済を真の復興へと大きな希望を持ち歩んで行く未来を切り拓く国民意識を醸成すべく運動・活動をおこなっております。



公益社団法人日本青年会議所 総務グループ 規則審査会議 委員 眞木 祐治

規則審査会議の役割は、大まかに3つあります。まず、組織の根幹を成す定款、および本会や各協議会で定められた諸規程や内規（JCI マークのブランドガイドライン等）を管理することです。次に、社会的信頼のある組織を追求するために、著作権、肖像権等の法令順守を徹底することです。そして、公益社団法人として公益に資する事業を展開していくために、法に定められた公益事業費率を管理して公益性を確保することです。具体的な活動としては、まず、諸規程や内規の見直しを行います。諸規程や内規を誰が読んでわかるように改定する作業です。次に、メインの活動となるのが審査会の開催です。毎月 JCI 会館にて審査会を開催し、日本青年会議所の各委員会が企画立案する議案の内容が、コンプライアンスを順守した内容となっているか、公益性を満たす内容となっているかを理事会に上程する前に審査します。審査会は面談形式で行われ、全議案の資料に目を通し、質問やチェックリストを使用してコンプライアンスおよび公益性をチェックします。

我々が所属する規則審査会議の第4小会議は、主に中国・四国地区の出向メンバーで構成されており、岡山 JC から4名、倉敷 JC から1名、津山 JC から2名、鳥取 JC から1名、吉野川 JC から1名、大阪 JC から1名が出向しています。岡山ブロックメンバーが多いので非常に心強いです。また、審査会後の規則審査会議全体での懇親会では、毎回非常に盛り上がり、出向の醍醐味である「懇親」の部分もしっかり楽しんでいきます。出向で学んだことをLOMIに還元させられるように、今後も高い意識を持って参加していきます。

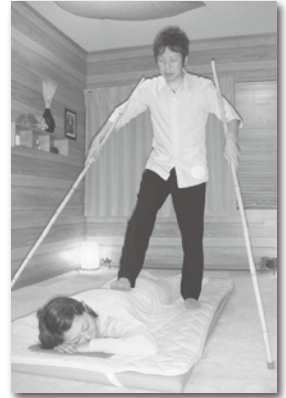


会員消息



指導力入魂委員会 委員 保田 知己

J Cに入会をして、早2年6ヶ月が過ぎようとしています。入会するまで、どのように時間を使ってきたのか、わからなくなるくらい、J Cに費やす時間が多くあります。特に昨年は、津山納涼ごんごまつりにおいて、責任のある立場であったため、J Cに比重をおいた生活となりましたが、そうすると、個人で仕事をしながらのJ C活動というのは、かなり重たいものがあります。もちろん、自分が仕事をしなければ、収入はありません。J Cをがんばりたい気持ちが非常にあったとしても、仕事のバランスを考えると難しい事もあります。その辺りはメンバーの方々に理解していただきたい点もありますし、自分がJ Cに没頭できる体制を作らなければならないと思います。今、私が一番に目標に掲げる事は、「今の自分があるのは、J Cのおかげです。」と卒業する時に言える様に、充実したJ Cライフを送るための個人事業の拡大をすることです。



野球部 キャプテン 山本 俊輔

ブロック連覇、全国大会出場を目標に本年度の野球部は始動し、決起集会では多くの野球部OBの先輩から激励と期待をいただきました。周りの期待が膨らむ中で冬場から必死に練習に取り組み、Y E G、真庭J Cとの練習試合を重ね、一人ひとりの自信とチームの一体感が増したと感じました。6月1日、岡山ブロック会員懇親野球大会が児島の地にて開催されました。我々津山J Cは目標を達成すべく、一丸となって挑みましたが、結果は2回戦で倉敷J Cに惜敗しました。しかしながら、1回戦の西大寺J C戦では最終回に須江理事長の同点タイムリー、流郷君のサヨナラヒットと練習の成果と共に我々津山J Cの粘りと勝利に対する執念を感じました。目標は達成できませんでしたが、これまでの野球部の取り組みの中で培われた経験は、今後の運動、活動を行う活力になったと確信しています。須江理事長をはじめメンバーの皆様には心身ともに支えていただき、心から感謝しています。そして、全力で取り組む中で得られた感動は私の財産となりました。次年度以降、津山J C野球部が更に躍進することを切に願って、本年度の活動報告とさせていただきます。



スケジュール

6月29日	岡山ブロック大会 (新見)
7月11日	つながろう! サマーキャンプ サポーター研修会①
7月12~13日	「大和魂」育成プログラム
7月19~20日	サマーコンファレンス (横浜)
7月24日	つながろう! サマーキャンプ サポーター研修会②
8月2~3日	第35回津山納涼ごんごまつり
8月10日	つながろう! サマーキャンプ 団結式
8月19日	納涼会
8月22~23日	つながろう! サマーキャンプ 宿泊型体験事業

編集

後記

早いものでもう6月となり、本年度も折り返しの時期となりました。梅雨のじめじめも吹き飛ばすような熱い事業が今後も展開されていきます。皆さま体調にはくれぐれも気を付け、J C運動・活動に邁進していきましょう。

● 津山J Cニュース「あした」 平成26年6月19日 ●

発行責任者/(一社)津山青年会議所 会員広報委員会 委員長 中川洋平
津山市山下30-9 電話(0868)22-6713 E-mail info@tsuyamajc.or.jp